

■まちづくりに対する駅前空間づくりの関わり

まちづくりの視点における考え方

- 瑞穂市JR穂積駅圏域拠点化構想
「みんなの『心』をつ・つ・む場所 ほづみのエキチカ」
- 瑞穂市JR穂積駅周辺整備基本計画
駅周辺に人々が集まり交流できる環境整備と生活利便性向上による居住促進
- 穂積駅南地区 地権者協議会
こや〜よ！駅南 〜みんなでつなぐ 住みやすいまち〜

本地区の駅前空間づくりに求められる役割

1. みんなの滞留を促し、憩いを提供する場所
2. 交通結節点として、使いやすく、便利な交通機能の充実
3. 日常・非日常 どちらにも対応可能なみんなの交流や賑わいを創出
4. みんなの安全な暮らしを支援する場所

本地区の駅前空間が創出するまちづくりの効果

- 周辺環境や、各ゾーンごとの個性・特性を活かし、付加価値を創出することで、新たな拠点づくりを実現
- 新たな拠点の実現により、ここを起点とした周辺地域の活性化や、圏域の市町との繋がり、まちづくりの波及効果を創生

■穂積駅南口駅前広場デザインコンセプト（案）

「つなぐ、ひらく、にぎわう、新しい駅まち空間」

- 穂積駅は、通勤・通学をはじめ、周辺住民及び圏域市町約15万人が利用する、市の玄関口として重要な交通拠点
- 駅利用者の利便性、快適性、市の顔としての地域性、未来志向をバランスよく取り入れて駅前空間を再編

「地域と人、人と人、過去と未来をつなぐ結節点」として、
多様な利用者が安全・安心・快適に過ごせる空間を創出

■コンセプトを形成する3つの柱



つなぐー交通と人の流れの結節点

- ・ 様々な交通手段（公共交通、一般車、自転車等）のスムーズな乗り換え導線の確保
- ・ 雨天・炎天時における快適な歩行者空間の確保
- ・ 高齢者や子育て世代も安心して利用できるバリアフリーな空間形成
- ・ 通勤・通学時における混雑緩和のため、スムーズな送迎環境の確保
- ・ 周辺の道路整備と連携した駅への集散性の向上



ひらくー地域に開かれた公共空間

- ・ 開放的な視野と導線の確保により、誰もが立ち寄りやすい雰囲気 연출
- ・ 駅利用者や来街者が滞在しやすい憩いの場を創出
- ・ 地域の歴史文化と未来への期待感を抱くことができる駅前景観の演出



にぎわうー日常とイベントが交差する場

- ・ 駅南金曜市や地域マルシェ等の開催による日常的な駅周辺の活性化
- ・ ほづみ夜市や汽車まつりなどの大規模イベントの開催による賑わいの創出
- ・ 装飾や演出による、季節ごとの駅前表情の提供
- ・ 夜間でも安心して利用できる駅前空間の創出
- ・ 災害時等における来街者や地域の安全や住民の安心の確保

■平面計画

- ・ 一般車と公共交通を分離し、それぞれのロータリーを設置
- ・ 地域住民の日常的な利用を考慮し、歩道空間と併せた広場空間を確保
- ・ イベント時の一体利用を想定し、駅前広場と公園の舗装はフラット



■駅前の役割と配置施設（案）

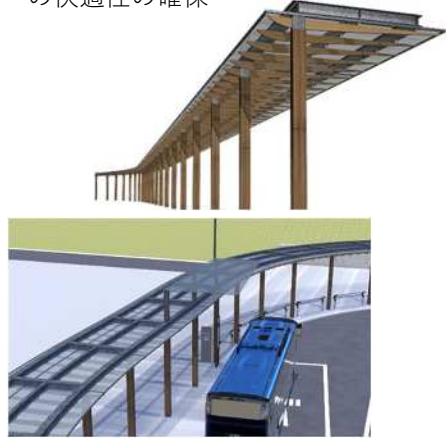
便	連絡通路正面の大屋根	憩	無料Wi-Fi
便	乗降場のシェルター	憩	ウォールアート
便	視認性の高いサイン	賑	多目的スペース
便	デジタルサイネージ	憩	四季を感じられる植栽
便	一時駐車場	賑 安	各種照明（LED、電源付、ソーラー）
憩	ベンチ	安	防災倉庫
憩	休憩所（駅前広場内）		

■施設配置（案）：イメージ

※現段階のイメージであり確定したものではありません

シェルター

雨天、炎天下時の歩行者や乗降者の快適性の確保



大屋根

雨天、炎天下時の歩行者の快適性確保
公共交通側への動線誘導
イベント開催時における来場者の快適性確保



ウォールアート

世界的なアート作品を身近に感じられる機会の創出
新たな来訪者の拡大



トイレ

男子・女子・多目的の3連トイレ



各種サイン

多言語対応や視認性の高いデザイン設定



舗装

市内を流れる一級河川の清流をイメージした、穏やかで力強い流動性を表現したポーターデザイン



照明

災害時やイベント時の電気供給も想定



▲ソーラー



▲商用電源照明



▲別府細工照明

休憩施設（ベンチ・テント）

雨や暑さをしのぐ屋根（テント）の設置
木材とスチール素材による温かみとスタイリッシュなデザインの融合



遊具

イベント時の一体的利用も踏まえた遊具選定



背伸ばしベンチ

ちびっこハウス